

## 一般動詞現在形

### 1. 一般動詞とは

一般動詞とは、be 動詞(am, is, are)以外の動詞です。例えば、

- study … 勉強する
- play … する
- speak … 話す
- go … 行く
- like … 好き
- want … 欲しい 等

の動詞のことです。また、be 動詞は人称で変化しましたが、基本的に、一般動詞は変化しません。ちなみに、人称とは、

- 1 人称…私、僕、俺 etc (am)
- 2 人称…あなた、君 etc (are)
- 3 人称…上記以外全部 (is)

このように分類されます。必ず覚えて下さい。

## 2. 一般動詞の英作文

### 1 肯定文

主語＋述語（一般動詞）＋～.

例文： 私は英語を勉強します。

⇒ まずは単語に

私は 英語を 勉強します。

(I) (English) (study).

⇒ これを 主語＋述語＋～. に並べると、

I study English. (完成)

どうですか？それほど難しくはないと思います。もう一問やってみます。

例文： あなたはテニスをします。

⇒ まずは単語に

あなたは テニスを します。

(You) (tennis) (play).

⇒ これを 主語＋述語＋～. に並べると、

You play tennis. (完成)

be 動詞の項目でも述べましたが、単語力がないと解けません。日ごろから勉強して、単語を毎日一つずつ、しっかりと覚えて下さい。

では、次は否定文に入ります。

## 2 否定文

主語 + do not ( don't ) + 述語 ( 一般動詞 ) + ～.

否定文は「～でない」を表し、not が「～でない」の意味です。また、「do not」を「don't」に短縮してもかまいません。

注意すべき点は、be 動詞の否定文は not を be 動詞の直後に置きましたが、一般動詞の否定文は動詞の直前に do not を置くことです。

例文： 私は英語を勉強しません。

⇒ まずは単語に

私は 英語を 勉強し ません。  
( I ) ( English ) ( study ) ( do not ).

⇒ これを主語 + do not + 述語 + ～. に並べると、

I do not study English. ( 完成 )  
( = I don't study English. )

これで完成です。

動詞の直前に do not を置いて下さい。

では、もっと簡単にもう一問

例文： あなたはテニスをします。

( You play tennis. )

上で出てきた例文です。これを否定文にしてみます。

またまた述べますが、動詞の直前に **do not** を置くだけです。

⇒ 動詞の直前に **do not** を置くだけ

**You do not play tennis.**

( = You don't play tennis. )

(あなたはテニスをしません。)

be 動詞と一般動詞の疑問文の違いがわかりましたか？be 動詞は直後に **not** 、一般動詞は直前に **do not** です。以下に例文を挙げるので、違いをよく観察してください。

例文： be 動詞

[肯定文]

**I am a student.**  
(私は生徒です。)

[否定文]

**I am not a student.**  
(私は生徒ではありません。)

[肯定文]

**You are a teacher.**  
(あなたは先生です。)

[否定文]

**You are not a teacher.**  
(あなたは先生ではありません。)

例文： 一般動詞

[肯定文]

**I speak English.**  
(私は英語を話します。)

[否定文]

**I do not speak English.**  
(私は英語を話しません。)

[肯定文]

**You have a car.**  
(あなたは車を持っています。)

[否定文]

**You do not have a car.**  
(あなたは車を持っていません。)

be 動詞と一般動詞の否定文の違いを理解してください。

### 3 疑問文

Do + 主語 + 述語 (一般動詞) + ~?

疑問文は、「～ですか。」 「～いますか。」を表す文です。Do を文頭に持っていくだけで疑問文が完成します。ピリオドを?にすることも忘れないで下さい。

では、疑問文とその答え方の例文です。

例文： **You speak English.**  
(あなたは英語を話します。)

疑問文：  
**Do you speak English?**  
(あなたは英語を話しますか。)

このように、Do を文頭に置くだけで疑問文ができました。次は答え方です。

「はい」の場合  
**Yes, + 主語 + do.**

「いいえ」の場合  
**No, + 主語 + do not ( don't ).**

すぐ上の疑問文に答えてみます。

**Yes, I do.** (はい、話します。)  
**No, I do not ( don't ).** (いいえ、話しません。)

be 動詞と同じく、疑問文と答えでは主語が変わっています。質問する人と答える人の立場を考えながら、落ち着いて答えて下さい。

チェックポイント

最後にまとめとして、よくしてしまうミスを紹介します。英作文をする時に、一般動詞に慣れないうちは、be 動詞と一般動詞の疑問文を一緒にしてしまう人が多いです。しっかり練習して、きちんと区別できるようになって下さい。その例文を挙げておきますので、違いを把握して下さい。

○ be 動詞の文は be 動詞を文頭に

[肯定文]

**You are a student.**  
(あなたは生徒です。)

[疑問文]

**Are you a student?**  
(あなたは生徒ですか。)

○ 一般動詞の文は DO を文頭に

[肯定文]

**You study math.**  
(あなたは数学を勉強します。)

[疑問文]

**Do you study math?**  
(あなたは数学を勉強しますか。)